

家庭状況報告書の書き方

① 次年度も就学援助を希望する場合は、「1. 希望します」に丸をつけ、申請書うら面まで記入してください。辞退する場合は、③までのマイナンバー以外の部分を記入してください。

② 引っ越しの予定がある場合は、住所欄に現住所と予定先住所を並べて記入してください。連絡先は、申請書に不備があった場合の連絡用として使用しますので、平日の日中に連絡のとりやすい番号を記入してください。電話に出やすい時間帯がある場合は、希望時間などを記入してください。〈例〉妻の携帯へ 14時以降の連絡希望。

マイナンバーを記入したかを確認してください。マイナンバーが分からない場合は、学務課までご連絡ください。

第1号様式②(第6条第1項) 就学援助費家庭状況報告書

(国策) 18年度教育委員会 次へ2ページを記入します

① 希望します ② 希望しません

③ 希望しない ④ 希望する

⑤ 持ち家 ⑥ 賃貸住宅・社宅

⑦ 同一生計の家族について私の申告が誤っている。 ※申告が誤っていない場合は、認定の可否判断ができません。成人の場合は、昨年の収入が無くてもその旨を市長税課に申告してください。

③ この欄は、4月以降に就学援助を引き続き希望する子を書く欄です。令和3年1月1日時点で、小学1年生～中学2年生の子を年齢が低い順に記入してください。未就学児や中学3年生以上の子がいる場合は、④の「上記を除く家族の状況」欄に記入してください。4月に中学校に進学などで、学校が変わる予定がある場合は、現在の学校名の他に、予定先の学校名を()内に記入してください。

④ 上記以外の生計を共にしている人全員分を記入してください。祖父母などとの同居は、住民票上は別な場合でも、原則生計を共にしているものとみなします。続柄は、「父・母・夫・妻・子・同居人」など申請者との関係を記入してください。マイナンバーは、収入のない未成年者は記入不要です。成人の場合は、被扶養者や年金受給者などで非課税・無収入の場合でも記入が必要になるのでご注意ください。

裏面に続きます



11年度版(1)(紙本多量印刷) 就学援助費家庭状況報告書

1. 申請しなす
2. 申請しなす

5

6

⑤ 該当する項目に✓をつけて、受給開始時期と令和2年中に受け取った金額を記入してください。次に該当する人は、書類の添付が必要です。

- ◆児童扶養手当の受給者→「児童扶養手当証書」のコピー
「有効期限・受給者氏名・手当月額・支給開始年月」が分かる部分を添付。
- ◆賃貸住宅に住んでいる人→「賃貸契約書」のコピー
「契約者名・契約期間・契約金額」が分かる部分を添付。
- ◆遺族・障害者年金の受給者→受給額が分かる証書のコピー
「令和2年中の受給額」が分かる部分を添付。

⑥ 「マイナンバー（個人番号）」欄と「税情報利用の同意」欄は、申請者を含む世帯内の成人は、収入の有無に

関わらず全員の記入が必要です。

未成年の場合でもアルバイト等で収入がある場合は、記入してください。例えば、次の人もそれぞれ記入が必要です。

- ◆収入が無いまたは非課税の成人
- ◆年金受給者
- ◆アルバイトをしている未成年者

※記入を拒否する場合は、記入が必要な人全員分の「市県民税課税所得証明書」が必要です。証明書は、令和3年6月半ばに市役所で取得が可能になった後、教育委員会へ提出してください。

裏面

振込先口座	金融機関名						預金種別		
							銀行・信用金庫	支店	普通
						農協・信用組合	出張所		
	口座名義(カタカナで記入)						口座番号		

⑦ 認定になった際に使用する振込先口座を指定してください。

ゆうちょ銀行を指定する場合は、必ず口座番号と支店名を確認してください。口座番号は7ケタになります。通帳内の「番号」の8ケタとは異なりますのでご注意ください。

また、支店名は漢数字3ケタになります。地名等の支店名では振込が行えませんのでご注意ください。

×「12345678」 →→ ○「1234567」

×「大和田支店」 →→ ○「三五八」